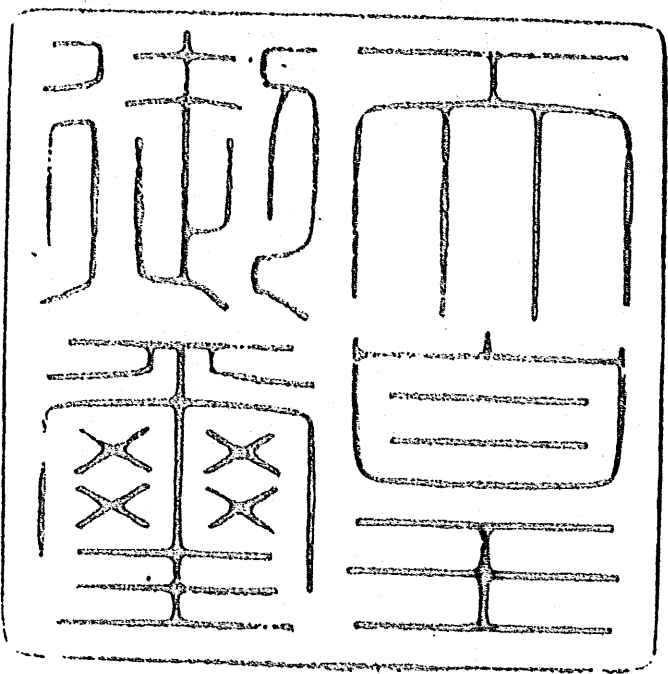


二月廿二日發
豫莫外國庫ノ負擔トナルニキ契約ヲ為スル
要スル件 (進第一号)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫莫外國庫
ノ負擔トナルニキ契約ヲ為スル要スル
件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治四十年二月二十一日

内閣總理大臣侯爵

大藏大臣法學博士

逓信大臣

外務大臣子爵

西園寺公望

阪谷芳郎

山縣伊三郎

林董

豫莫外國庫ノ負擔トナルハキ契約ヲ爲
スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ
依リ其利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲
シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約
ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二
日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附
屬協約ニ依リ大連長春間、南關嶺旅
順間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間

煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯撫順間及奉
天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道便
益ノ爲鑛業殊ニ撫順及煙臺ノ炭鑛
採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬
地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ
他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營
ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三
箇年内ニ四呎八吋半ノ軌間ニ改築
シ大連長春間ノ内大連蘇家屯間ヲ
複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ

旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必
要ナル諸設備ヲ爲シ線路ノ沿邊ニ
連スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡
ニ必要ナル設備ヲ爲スコト
二 資本總額ハ金貳億圓トシ每營業年
度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政
府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六
分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ
設立登記ノ日ヨリ起算シ十五箇年
間ヲ限り之ヲ補給スルコト

三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト

四 毎營業年度ニ於ケル利益配當力株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト

五 鐵道ノ改築又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償

還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ具ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルハキコト

六 政府ニ於テ保證スルキ社債ノ額面金額ハ常ニ政府ノ引受ニ屬セサル株式總額中ヨリ具ノ拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過セサルコト

七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年内ニ償還スルコト

八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記ノ翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ補給スルコト

九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタルトキハ其超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此場合ニ於テハ前項補給金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト

十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尚ホ剩餘アルトキハ該剩餘ハ總株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スルコト

十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ補給金ハ之ニ年六分ノ割合ノ利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコト

十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當力

年一割ノ割合ヲ超過スルニ至リタ
ルトキハ其超過額ハ前項債務ノ償
還ニ充ツルコト